

[横浜市民ギャラリーあざみ野]
平成 31 年度/令和元年度業務報告及び収支決算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地 3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² / 専有面積 1,975 m ²
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の使命】

横浜市が進める「文化芸術創造都市の全市展開」における地域活性化のモデルケースとして、指定期間第 3 期の基本コンセプト「アートでつなぐ横浜らしいまちづくり」の実現に向け、横浜市北部地域での存在感を高め、より一層のまちの魅力・活力の創出に取り組みます。

【総合的な方針】

1 アートで横浜らしいまちづくり

横浜らしい特色のある芸術文化を横浜の北部地域から発信し、まちの賑わいづくりやコミュニティの活性化を図り、「誇れるまち・住み続けたいまち」の進展に貢献します。アートと日常生活の関係を中長期的なテーマとして捉え、横浜市北部地域をはじめとする市民が大人から子どもまで集い、アートと触れ合うことで、地域での生活、暮らしの場であるまちに活力を与えるような取り組みを進めます。

2 アートで子どもの育みを応援

子どもは未来の宝です。アートの力で次世代を担う子どもの成長を応援します。豊かな感性や創造性、表現力、コミュニケーション能力、思いやりの心、自立心の育みを応援します。開館以来、当館の大きな柱である子どもへの取り組みをさらに充実させるとともに、学校との関係、地域との関係を深め、子どもの生活とアートの力を結びつけ、全ての子どもにアートに触れる機会が行き渡るように努めます。

3 すべての人に開かれた運営

横浜市男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」という）と共に、年齢、性別、人種、国籍、障がいの有無などに関係なくすべての人を受け入れ尊重し、開かれた施設運営を行います。ハード・ソフトのバリアフリー化のさらなる促進、誰もが参加できるアートプログラムの協働実施、障がい者によるアートの発信などに取り組みます。

(2) 31年度/元年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

第3期指定管理期間の最終年を迎え、この5年間で目標として掲げた事項の「達成度」を最終検証し、達成した事項については継続的な維持・発展を担保すると共に、未達成事項についての期間内達成を目指しました。第3期においては、当館が将来にわたり、ここ横浜北部において創造性溢れる表現活動を幅広く育み、人と人とが交流する市民と創造活動の「出会いの場」であり続けるための基盤を確立することが出来たと自負します。

第4期指定管理期間（2020年度—2024年度）についても、引き続き指定管理者として選定された事を念頭に、一過性に留まらない中長期スパンで達成していく事業への着手も始動しました。

① 事業について

企画展は、例年通り年間3事業を夏・秋・新春に実施しました。

夏休み期間に開催した、子どもとアートを結びつける総合的なイベント「あざみ野こどもぎゃらりい2019」では、『さよならをいって それからであう旅』をテーマに、アーティストの松本力が展覧会のために描きおろした絵本を配布すると共に、アニメーション作品、原画等を展示し、多様な幻想的な空間を展示室の中に出現させました。継続開催の6年目となった横浜市立山内小学校の児童が撮影した写真「自分の思いと写真」の展示に加え、今年度より地元企業からの資材提供を受け開催した造形ワークショップの成果発表展も併催するなど、地元の教育機関や企業との連携強化にも努めました。会期最終日には、「あざみ野ナイト」を開催。エントランスロビーに詰め掛けた観衆の前で、バリ島の幻想的な影絵とガムランの音色が館内に響き渡りました。

芸術の秋には、新しい表現に取り組む才能豊かな新進アーティストに光をあてた「あざみ野コンテンポラリー」を開催。今回は、絵画表現とリアリティをテーマに、5人のアーティストたちの作品を紹介しました。絵画を通じて表現された“現実”すなわちフィクショナルなリアリティをめぐるアーティストの実践から、個々のリアリティが如何に画面に積層し、わたしたち鑑賞者と接続しようとしているのか、媒体としての今日性を問いながら読み解く展覧会となりました。会期中開催したアーティストトークは、作品鑑賞の理解がより深まる貴重な機会となりました。

新春には、写真表現の現在を切りとる企画展と、収蔵する約1万件の横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを活用し様々な切り口で紹介するコレクション展を「あざみ野フォト・アニュアル」

と称し開催。本年度の企画展では、田附勝の個展を開催。彼が2012年から撮影を始めた「KAKERA」シリーズを紹介しました。本展は、鑑賞者に考古遺物と歴史の邂逅を目撃するかのような経験をもたらし、新鮮な驚きと複層化した時間について考えるきっかけを与えるものとなりました。田附と親交の深い人類学者との対談も盛況でした。コレクション展では、写真誕生から180年を記念し、世界で最初の写真術であるダゲレオタイプをテーマに所蔵品を紹介しました。写真が誕生したヨーロッパ、ダゲレオタイプが発展したアメリカを中心に、どのように伝播し受容されていったのか、写真、カメラ、撮影器具や関連資料を通じて丹念に辿る展示となりました。

アトリエ事業では、「市民のためのプログラム」として初心者から上級者までそれぞれのニーズに応える幅広い内容で開催し、創作の楽しさを通してアートをより身近に感じていただくことを目指しました。スリップウェア、テンペラ画、手描友禅など、体験する機会が少ない分野を積極的に取り上げ、当館ならではの個性ある事業展開を図りました。

「子どものためのプログラム」では、子どもたちが自分の手や目、からだ全体をつかって伸びやかに活動し、自立心と心身の健やかな成長を育むことを目的に、造形活動を中心としたプログラムを学齢別に展開しました。ワークショップで使用する題材も、発泡スチロール、ボール紙、木工、粘土、油絵等々の多彩な素材を使い、どの講座においても高い評価を得ました。加えて、全ての講座を事故なく安全に実施することができました。

「あざみ野カレッジ」では、芸術文化の専門性が高い講座のみならず、ジャンルに捉われない幅広い分野や横浜市で活動する講師陣に登壇を依頼するとともに、現地に赴くツアー形式の企画なども配し「街の再発見」につながる展開を意識しました。

「横浜音祭り2019」開催年に際し、フェスティバル実行委員会との事業連携や広報協力等を通して、単なるコンサートの開催にとどまらず、当館オリジナル制作による事業を展開する事によって、横浜北部におけるフェスティバル発信拠点の役割を担いました。

アウトリーチ事業では、横浜市芸術文化プラットフォーム事業を継続実施するほか、当館独自に横浜北部地域の小・中学校や公共施設等との連携による実施を行いました。特に、昨年度から続けている近隣企業から資材協力を受け開催する造形プログラムについては、同じ手法での新規企業開拓も行い、当館の看板プログラムとなりました。

センター横浜北との共催事業においては、従前より行っているロビーコンサートや舞台公演に加え、初の試みとして「文化芸術と男女共同参画」の融合による講座事業を企画しました（実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により次年度へ延期）。

その他、特筆すべき出来事として、開館以来初めての海外巡回展として、昨年度実施した「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 暗くて明るいカメラの部屋」が、中国・四川省成都市に所在する「A4 Art Museum」にて開催され、好評を博しましたが、会期中で新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉幕を余儀なくされてしまいました。

② 運営について

「ホスピタリティの向上と公平・公正」を運営の基本に据え、利用者にとっての安全安心を第一に、バリアフリー対応や災害時等の適切な対応等をセンター横浜北との協働で推進しました。利用者をはじめ幅広い市民の意見を積極的に取り入れ施設運営に反映させると共に、市民が主体となって芸術に関わる、貸館での展示利用やワークショップについては、利用者の文化芸術活動が最大限発揮できるよう専門的なサポートを行いました。

貸館での展覧会を多くの市民に見ていただき、展示する側と見る側の交流を豊かにしていくことが、「まちづくり」に重要な役割を果たすと考え、貸館事業の広報支援にも努めました。

③ 管理について

「アートフォーラムあざみ野」の施設・設備の維持管理業務を共同で担う男女共同参画センター横浜北及び管理委託会社と情報を共有し、PDCAを徹底し、施設の長寿命化や環境への負荷軽減に向けた管理を行いました。特に今年度は、共用部として空調設備（吸収式冷温水発生機）整備工事が実現しました。今後の様々な機器や設備の更新時期についても、きめ細かな対応計画を心掛けました。

市民ギャラリーあざみ野の専有設備等については、展示室の蛍光灯交換、収蔵庫の扉やアトリエ音響システムの修繕等が実現しました。ギャラリーとしての高い水準を維持し、長寿命化を図るために、引き続き丁寧な維持管理と経費管理を行っています。

また、市民の貴重な財産であるカメラ・写真コレクションの整理・保存を適切に行うとともに、当資料の将来に向けた効果的な活用策について検討を進め課題点を含めた提言を行いました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●市民自ら行う文化芸術活動の「きっかけづくり」や継続的な活動、より専門的な活動をお手伝いします。</p>	<p>初級者向けの基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティストから学ぶワークショップを実施</p> <p>□市民のための講座・ワークショップ 年10コース以上 年間参加者 延べ800名以上</p> <p>□平均満足度4.6以上</p>	<p>●横浜北部地域に位置する市民利用施設として、市民が自ら芸術文化活動を体験することや主体的に知識獲得を行うことに対し、その一助を担う事業展開を図りました。今年度は、スリップウェア、テンペラ画、手描友禅など普段あまり体験する事がない分野をあえて取り上げ、プログラムの幅を広げることを心がけました。</p> <p>□市民のためのプログラム 年10コース開催 年間参加者数：延べ743人</p> <p>□年間満足度4.94（5点満点） ※延期中止事業除く ・オープスタジオ ヌード・クロッキー（4/10-3/4） ※新型コロナウイルス感染予防対策につき3/4, 18開催分を中止。計5コース ・やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ（4/11-6/6）計5回</p>

<p>●さまざまなジャンルの達人やプロフェッショナルによる講座やワークショップで大人の知的好奇心を刺激します。</p>	<p>生活の中にある様々なテーマをとりあげる学びの場</p> <p>□あざみ野カレッジ アート関連 年4回 地域ほか広範囲な題材 年4回 専門性の高い実践講座 年3回</p> <p>年間参加者 300名以上 □平均満足度 4.5以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸—スリッパウェア(5/24-7/5) 計5回 ・はじめての透明水彩(9/9-11/11) 計5回 ・古典絵画技法 金箔装飾とテンペラ画(11/4-12/13) 計6回 ・手描友禅(2/7, 2/21) <p>※新型コロナウイルス感染施用予防対策につき 3/4 開催分を次年度に延期。</p> <p>●文化芸術に限定せず、地元地域の遺跡や工房等とも連携を図り、生涯学習の場を提供しました。また、当館所蔵のカメラ・写真コレクションに関する研究成果の発表も開催しました。</p> <p>□あざみ野カレッジ アート関連 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代美術探求ラボ vol.6 いま「限界芸術」を再考する(8/31) ・北欧ノルウェーの美しき民族楽器 ハーディングフェーレー唯一の日本人職人に聞くその魅力と調べ(9/21) ・現代美術探求ラボ vol.7 現代美術と考えるこれからのデジタルメディア 「タイムベースト・メディア」の保存と在り方を中心に(10/22) ・アメリカのダゲレオタイプ(2/15) <p>地域ほか広範囲な題材 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜に暮らした弥生人～大塚遺跡に立って考えてみよう！～(6/22) ・映像と写真でふれるサハリンの先住民(7/7) <p>専門性の高い実践講座 未実施</p> <p>年間参加者 180名 □平均満足度 4.71(5点満点)</p>
<p>●複合施設の特徴を活かし、センター横浜北との共同企画でアートフォーラムあざみ野の賑わい創出や顧客開拓</p>	<p>■様々なジャンルのアートに取り組み、地元地域への幅広い新規顧客を開拓</p> <p>□あざみ野サロン 年4回</p> <p>・企画展関連事業、その他舞</p>	<p>□あざみ野サロン 実施3回、参加者数443名</p> <p>※他1回、新型コロナウイルス感染予防対策につき次年度に延期</p>

<p>につながる事業を実施します。</p> <p>●日ごろ文化芸術に触れる機会の少ない市民を対象としたアートの出前事業を行い、市民交流やコミュニティの活性化を図ることで創造的なまちづくりを推進します。</p>	<p>台系 年3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音祭り関連事業 年1回 <p>□地域アウトリーチ及び派遣型アウトリーチ 年1回</p> <p>□市民協働/地域連携型 年1回</p>	<p>企画展関連事業、その他舞台系 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「日々是好日」上映会(10/27) ※センター横浜北企画 ・あざみ野寄席「新春！金原亭馬玉独演会」(1/12) ※講演会「マイホームの夢とキッチン—台所は女の城か？」(3/1→新型コロナウイルス感染予防対策につき次年度に延期) <p>音祭り関連事業 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あざみ野オペラ歌合戦「泉良平 VS 新津耕平 因縁のリターンマッチ～勝者を決めるのはお客様です～」(横浜音祭り 2019 連携事業)(11/9) <p>□地域アウトリーチ及び派遣型アウトリーチ 1回(延べ4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山内小学校 写真ワークショップ「自分の思いと写真」(6/11, 17, 24, 7/1) 延べ224名 <p>□市民協働/地域連携型 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市岩間市民プラザ：地域連携型(派遣型)フェローアートギャラリー「はじまりはアートの旅 2019」(8/1-18) 入場者数 246人 ・S.O.S. アートラボはしもと等連携事業シンポジウム/勉強会(11/3, 12)
----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 子どもたちをはじめとする、次世代育成について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●アートを通し子ども達の感性を磨き、主体性を伸ばすとともに、創造の喜び、コミュニケーション力、思いやりの心を育みます。</p>	<p>子ども達が主役となって、アートを鑑賞するだけでなく、体感し楽しむことのできる、子どものための展覧会。ワークショップも併催(8月に開催)。</p> <p>□「あざみ野こどもぎやらりい 2019」 1回</p> <p>来場者 3,500人以上</p>	<p>□夏の企画展「あざみ野こどもぎやらりい 2019 『さよならをいって それからであう旅』」(7/26～8/4)</p> <p>来場者数 4,089人</p> <p>【展示室1】</p>

	<p>□ 展覧会内でのワークショップ 1回以上実施</p> <p>アトリエを会場に子ども達がアートと触れ合う事業を実施</p> <p>□アトリエ事業の年間参加者 延べ9,000人以上</p> <p>①親子を対象とした、粘土、紙、絵具で遊びながら学べる、造形・創造活動</p> <p>□親子のフリーゾーン（幼</p>	<p>●アーティストの松本力氏がこの展覧会のために描きおろした絵本を配布すると共に、アニメーション作品7点、原画約70点を展示し、多様で幻想的な空間を展示室の中に出現させました。</p> <p>【展示室2】</p> <p>・「自分の思いと写真」 監修：三ツ山一志 今年で6回目となる、地元小学校との連携事業。事前に行った出張ワークショップで横浜市立山内小学校5年生（青葉区）の子どもたちが撮影した写真に、それぞれの思いを綴った文章を添えて展示しました。</p> <p>・「リサイクルアートに挑戦！」ワークショップ参加者各品展 監修：山田裕介 古河電工パワーシステムズ株式会社より資材提供を受け開催した造形ワークショップの成果展を開催。作者である子どもたちが家族と一緒に見に来てくれただけでなく、子どもならではの表現や思いに触れた来館者の方から、多くの感嘆の声が聞かれました。</p> <p>□展覧会内でのワークショップ 計2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスモスゴロクをつくろう！（会場内常設） ・マキバンバンとダンスで冒険しよう！ 講師：森下真樹（8/3） <p>※関連事業</p> <p>あざみ野ナイト「バリ島の影絵人形芝居ワヤン マハーバーラタ「ビマの鬼退治」（横浜音祭り 2019 パートナー事業）（8/4）</p> <p>□年間参加者 計：延べ9,067人</p> <p>□親子のフリーゾーン</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>児と児童、保護者対象) 月 3 回</p> <p><input type="checkbox"/> 親子で造形ピクニック (個別支援学級や特別支援学校に通う親子対象) 月 1 回</p> <p>②プログラムごとに対象年齢を設定し、体験することを大切にした幼児・児童向けの多彩なワークショップ</p> <p><input type="checkbox"/> 幼児向け講座 年 7 回</p> <p><input type="checkbox"/> 児童向け講座 年 6 回</p>	<p>年間 33 回、参加者数：7,420 名 (4/10、24、29、5/8、22、26、6/5、19、23、7/3、7、28、31、8/18、28、9/11、15、25、10/16、27、30、11/13、17、27、12/4、15、18、1/15、26、29、2/5、11、19) ※3 月開催予定 3 回 (3/4, 18, 22) は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止</p> <p><input type="checkbox"/> 親子で造形ピクニック 年間 10 回、参加者数：175 名 (4/20、5/18、6/15、7/20、8/24、9/21、11/23、12/14、1/18、2/15) ※10/12 予定分は、台風上陸の影響にて中止 ※3/14 予定分は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止</p> <p><input type="checkbox"/> 幼児向け講座 年 6 回 年齢制限なし 年 3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどものイベント「ふわふわ帽子をつくろう」(5/5) ※年齢制限なし ・見て、さわって、描く(4/29) ・えのぐであそぼう！(6/23) ・焼き物しよう！(9/15) ・アトリエの時計屋さん(10/27) ※年齢制限なし ・ねんどであそぼう！(11/17) ・みんなでつくるあったかクリスマス(11/30, 12/1) ※年齢制限なし ・木工しよう！(1/26) ・かみであそぼう！(2/11) <p><input type="checkbox"/> 児童向け講座 年 5 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチロールアート(5/26) ・油絵を描こう！(6/15、22、7/6、20)
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p><input type="checkbox"/> 平均満足度 4.6 以上</p> <p>③文化芸術面からの学校支援を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>造形活動による学校支援年 10 回程度</p> <p><input type="checkbox"/>学校アウトリーチ 横浜市芸術文化教育プログラム 3校以上</p> <p>カメラ・写真に関連するア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール紙で動物をつくろう！(8/18) ・みんなでダンボールアート！(12/15) <p>※3/22分「真鍮アートに挑戦！」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度 4.85 (5 点満点)</p> <p><input type="checkbox"/>学校利用 年間 18 校 上菅田特別支援学校、荏田南小個別支援学級、山内小学校個別支援学級、上山小学校個別支援学級、北山田小+山田小個別支援学級、港北小学校個別支援学級たかつくらぶ、あざみ野第一小学校個別支援学級、折本小学校個別支援学級、若葉台特別支援学校 2 年生、若葉台特別支援学校 1 年生、相模原中央支援学校、高津養護学校小学部、長津田小学校個別支援学級、大豆戸小学校個別支援学級、新羽小学校個別支援学級、荏田第一小学校個別支援学級、相模原中央支援学校</p> <p><input type="checkbox"/>学校アウトリーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム 5 校 ①すみれが丘小学校：山田裕介/金属加工 ※資材協力：古河電工パワーシステムズ株式会社 (7/11, 12, 18) ②竹山小学校：森下真樹/ダンス (9/2, 9/4, 9/6) ③奈良の丘小学校：山田佐映子/絵の具遊び (9/5/13) ④本郷中学校：保科晶子/美術、国際交流 (12/5, 6, 7) ⑤新吉田小学校：山田裕介/金属加工 ※資材提供：有限会社 かなめ (1/16, 17, 23) <p><input type="checkbox"/>参加者：延べ 1,156 人</p> <p><input type="checkbox"/>山内小学校 1 校</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>ウトリーチ 1校</p> <p>□教師のためのワークショップ 年1回</p> <p>□教師のためのワークショップ成果展「横浜市立中学アニメフェスティバル2019」 年1回</p>	<p>写真ワークショップ「自分の思いと写真」 (6/11、17、24、7/1) ※再掲</p> <p>□教師のためのプログラム「アートアニメーションの実践」 (8/1) 講師：布山タルト（参加者：20人） 共催：横浜市美術科教育研究部会</p> <p>□横浜市立中学校アニメーションフェスティバル2019(9/28)（参加者：88人） 共催：横浜市美術科教育研究部会</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ウ アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくりについて

<p>[取組内容]</p> <p>●新しい表現に取り組む才能豊かな新進アーティストを発掘し、紹介するだけでなく、市民とアーティストの交流の場を設けて応援したくなる仕掛けをつくる。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>企画展の関連事業として市民とアーティストが交流する事業（トークイベント、ワークショップなど）</p> <p>□コンテンポラリー展及びフォトアニュアル会期中年4回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●企画展における出品作家と市民を繋ぐ交流会や関連するワークショップを開催し、普段コンテナラリーアートとの馴染みが薄い市民と作家・作品をつなぐ試みを行いました。小展示コーナーにおける、若手アーティストや障がいのあるアーティストの紹介にも努めました。当館を起点に活動の発信をすることで、来館された市民に彼らの活動や作品について知る機会提供すると共に、HPやSNSでの情報発信にも注力し彼らの活動支援を行いました。</p> <p>□コンテンポラリー展及び写真展期間中 年9回 「あざみ野コンテンポラリーVol.10」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストトーク#2 加茂昂／松本奈央子 (10/19) ※2回 ・水野里奈＋山岡敏明アーティストトーク緊急開催！（11/4）※2回 ・クロージングレセプション(11/4) <p>※10/12 開催予定のオープニングレセプション及び10/13 開催予定アーティストトークが台風上陸の影響で中止となった代替開催</p> <p>「あざみ野フォト・アニュアル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプション(1/25) ・田附勝：アーティストトーク(1/25)
-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>○ミニギャラリーを設置し若手アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表する場を提供します。</p>	<p>ホワイエに設置した展示ケースで新進アーティストや障がいのある人たちの小展示</p> <p>□ショーケースギャラリー 年4回</p> <p>□フェローアートギャラリー 年4回</p> <p>①横浜のアーティスト、地域の方々が出演</p> <p>□ロビーコンサート 年24回 (ジュニアコーラス成果発表会1回を含む)</p> <p>□ジュニアコーラスワークショップ 1コース</p> <p>②アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場</p>	<p>・ダゲレオタイプ・ワークショップ:新井卓(2/1)</p> <p>・対談 田附勝、石倉敏明(人類学者)(2/22)</p> <p>□ショーケースギャラリー 年4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水町文美展(4/27-7/7) ・棕本真理子展(7/20-9/24) ・土肥美穂展(9/28-12/15) ・大野綾子展(1/6-3/22) <p>□フェローアートギャラリー 年4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・vol.34 伊藤有里 展(4/27-7/21) ・vol.35 長瀬明代 展(7/27-10/27) ・vol.36 山野将志 展(10/30-1/26) ・vol.37 品川太成 展(1/29-4/26) <p>※3/2-31までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために閉館</p> <p>□ロビーコンサート 年22回、来場2,374人 (4/14、28、5/12、26、6/9、23、7/14、28、8/11、25、9/8、22、10/20、27、11/10、24、12/8、22、1/5、26、2/9、23)</p> <p>※10/13開催予定分を、台風上陸の影響にて10/20の順延開催</p> <p>※3/8、22開催予定分は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止</p> <p>□あざみ野クリスマスジュニアコーラス2019 練習:11/3、4、9、16、23、30、12/7、14、21、22 発表会:12/22 ※ロビーコンサートに含む。</p>
----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>○センター横浜北との協働関係をさらに強化し、文化芸術と男女共同参画の理念を融合した事業や新たな利用者を開拓する事業を展開することで、魅力あるまちづくりにつなげます。</p> <p>○地域の人材を活用し、協働を強化します。アートサポーターの活動を拡大し、運営や広報活動への積極的な参加を促します。地元の団体やマイスターを活用した講座やワークショップを実施します。</p>	<p>を支援</p> <p>□あざみ野マルシェ/アートワゴン 年8回以上</p> <p>③文化芸術と男女共同参画の協働事業実施</p> <p>□昨年度実施したアートフォーラムフェスティバル時の調査アンケートや専門家の意見を参考に、講演会、映画会等の開催 年1回</p> <p>④アートサポーターとの協働</p> <p>□ワークショップ 年2回以上</p>	<p>□あざみ野マルシェ&アートワゴン 年12回 ※今年度は、個別開催していたアートワゴンとマルシェを「あざみ野アートワゴン&マルシェ」として開催(マルシェ6回、ワゴン6回)</p> <ul style="list-style-type: none"> あざみ野アートワゴン&マルシェ(5/22、7/7、31、10/27、11/17、1/18) <p>□あざみ野サロン「講演会：マイホームの夢とキッチン——台所は女の城か？」(3/1)を企画実施予定であったが、新型コロナウイルス感染施用予防対策につき次年度に延期 ※再掲</p> <p>□アートサポーターによるワークショップ 年3回 ※全て再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> こどものイベント「ふわふわ帽子をつくろう」(5/5) コスモスゴロクをつくろう！(7/26-8/4) 「みんなでつくるあったかクリスマス」(11/30、12/1) <p>□あざみ野アートサポーター美術鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> あざみ野フォト・アニュアル 田附勝展鑑賞会(2/9) <p>※「一日満喫！美術鑑賞ツアー 横浜美術館&横浜市民ギャラリー」(3/7) については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>○青葉区が主催及び実行委員会形式で展開する事業への協力や横浜市北部4区の大学と連携を図り、人材の交流やコミュニティの活性化を推進します。</p>	<p>⑤全館挙げてのイベント</p> <p><input type="checkbox"/>アートフォーラムフェスティバル 2019 への参画</p> <p><input type="checkbox"/>あおば美術公募展への協力 7月</p> <p><input type="checkbox"/>青葉区民芸術祭への協力 11月</p> <p><input type="checkbox"/>フォトジェニック青葉への協力 12月</p> <p><input type="checkbox"/>大学との情報共有や事業連携を図る 随時</p>	<p><input type="checkbox"/>アートフォーラムフェスティバル 2019 (10/27)</p> <p>※地元企業（メルセデス・ベンツあざみ野）の協賛を得て、親子向けコンサートや試乗体験イベントを開催。（来場者数：4,547人）</p> <p><input type="checkbox"/>第4回あおば美術公募展(7/6-15)</p> <p><input type="checkbox"/>青葉区芸術祭作品展(11/8-13, 15-20)</p> <p><input type="checkbox"/>フォトジェニック青葉フォトコンテスト審査協力 (9/27)</p> <p><input type="checkbox"/>大学との情報共有や事業連携 大学連携 年間4校、7企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城西国際大学：メディア学部による企画展紹介映像制作4企画 ※Gallery in the Lobby ※あざみ野コンテンポラリーvol.10 ※あざみ野フォト・アニュアル（2企画） ・八洲学園大学：「博物館実習」実習生受け入れ ・東京藝術大学：学芸員、修復家、アーティストを対象とした近現代美術作品の最新の保存修復情報の共有 ・横浜美術大学：青葉区主催「フォトジェニック青葉フォトコンテスト」審査協力
-----------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

エ 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信について

<p>[取組内容]</p> <p>●市民が同時代に創造されている表現に出会う場を提供することで、文化芸術を身近に鑑賞・体験できる拠点としての機能を発揮し、コンテンポラリーアート</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>企画展「あざみ野コンテンポラリーVol.10」(10月)</p> <p><input type="checkbox"/>来場者3,000人以上</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野コンテンポラリーVol.10 「しかくのなかのリアリティ」(10/14-11/4) ※台風19号の影響により10/12-13臨時休館</p> <p><input type="checkbox"/>来場者数：3,813名</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度：4.42（5点満点）※未達</p> <p>●現在進行形のアートを紹介するシリーズ展 絵画表現とリアリティをテーマに、5人のアーティストたち—加茂昂、水野里奈、横野明日香、松本奈央子、山岡敏明の作品を紹介しました。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>の振興に貢献します。</p> <p>●横浜北部の芸術拠点として、音祭り関係の情報発信や事業を実施することで横浜北部における当フェスティバルの盛り上げに寄与します。</p>	<p>□音祭り関連事業 1回以上開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あざみ野サロン内：1回 ・館内モニター等でのプロモーション動画上映 ・チラシ配布、ポスター掲示など 	<p>本展は、全107点の絵画を通じて、表現された“現実”すなわちフィクショナルなリアリティをめぐるアーティストの実践から、個々のリアリティが如何に画面に積層し、わたしたち鑑賞者と接続しようとしているのか、媒体としての今日性を問いながら読み解く展覧会となりました。また、会期中開催したアーティストトークでは、アーティストが制作背景や経緯だけでなく、日ごろ蓄積している創作アイデアの源泉を披露する場面もあり、作品鑑賞の理解がより深まる貴重な機会となりました。</p> <p>【関連企画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員によるギャラリートーク（10/20） ・アートなピクニック ―視覚に障がいがある人とない人が共に楽しむ鑑賞会（10/26） ※以下、再掲。 ・アーティストトーク#2 加茂昂／松本奈央子（10/19） ・水野里奈＋山岡敏明アーティストトーク緊急開催！（11/4） ・クロージングレセプション(11/4) ※10/12 開催予定のオープニングレセプション及び10/13 開催予定のアーティストトークが台風上陸の影響で中止となった代替開催 <p>□横浜音祭り関連事業 16回 ※全て再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーコンサート（毎月第2/第4日曜日）年22回開催/フェスティバル期間13回、うちコア期間（9/15-11/15）4回開催（5/12、26、6/9、23、7/14、28、8/11、25、9/8、22、10/20、27、11/10） ・あざみ野ナイト「バリ島の影絵人形芝居ワヤンマハーバーラタ「ビマの鬼退治」(8/4) ・あざみ野カレッジ「北欧ノルウェーの美しき民族楽器 ハーディングフェーレー唯一の日本人職人に聞くその魅力と調べ」(9/21) ・あざみ野オペラ歌合戦「泉良平 VS 新津耕平 因縁のリターンマッチ」～勝者を決めるのはお
------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

オ カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コレクションを最適な環境で保存し、貴重なコレクションを劣化させることなく、次代に引き継ぎます。 ● コレクションを活用した鑑賞の機会を提供し、カメラ・写真ファンの要望に応えとともに、市民に分かりやすくカメラや写真の歴史を伝え、カメラ・写真文化に親しんでいただきます。同時に、現代の写真表現を紹介することで、日本における写真発祥の地の一つといわれる横浜市の映像文化都市づくりに貢献します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ データベース整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の状態確認、修復 ・ データの有効活用法を検討 ■ 収蔵環境の調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出、熟覧への柔軟な対応 <p>①『フォト・ヨコハマ』の時期に合わせ、カメラ・写真コレクション&写真企画展を実施</p> <p>□「あざみ野フォト・アニュアル」来場者 3,000人以上</p> <p>□平均満足度4.6以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 収蔵作品の状態確認・調査・整備 <p>作品の保管状態を点検・改善しながら作業を行いました。不正確な目録を調査、補完して修正しています。</p> ■ データベース整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経常的に、作品の状態確認、修復を続けています。 ・ データの有効活用法を検討（随時） ■ 収蔵環境の調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部からの貸出、熟覧については、その要望にできる限り応えられるよう、柔軟な対応を心掛けています。 <p>①あざみ野フォト・アニュアル (1/25-2/23)</p> <p>□来場者数：4,917人</p> <p>□平均満足度：4.75 (5点満点)</p> <p>企画展「田附勝展『KAKERA きこえてこなかった私たちの声』」</p> <p>横浜市カメラ写真コレクション展「ダゲレオタイプ 記憶する鏡」</p> ●今年度の企画展は、田附勝の個展を開催。2012年から撮影を始めた「KAKERA」シリーズを紹介しました。同シリーズは国内各地の博物館や発掘現場で保管されていた膨大な縄文土器のかけらを、箱の中で中敷きや梱包として使用されていた当時の新聞と共に保管状態そのままに撮影したものです。本展は、鑑賞者に考古遺物と歴史の邂逅を目撃するかのような経験をもたらし、新鮮な驚きと複層化した時間について考えるきっかけを与えるものとなりました。田
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>②テーマを設定し、ロビーに設置したケース内で紹介する小展示</p> <p><input type="checkbox"/> 「Gallery in the Lobby」 年4回</p> <p>③ワークショップや講座、解説を通じて、カメラや写真制作に関わる理解を</p>	<p>附と親交の深い人類学者・石倉敏明氏との対談も盛況でした。</p> <p>コレクション展では、写真誕生から180年を記念し、世界で最初の写真術であるダゲレオタイプをテーマに所蔵品を紹介しました。写真が誕生したヨーロッパ、ダゲレオタイプが発展したアメリカを中心に、どのように伝播し受容されていったのか、写真、カメラ、撮影器具や関連資料を通じて丹念に辿る展示となりました。ダゲレオタイプスト・新井卓氏によるワークショップも開催しました。</p> <p>【関連事業】（企画展）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストトーク（1/25） ・学芸員によるギャラリートーク（2/9） ・アートなピクニック（2/11） ・対談 田附勝、石倉敏明（人類学者）（2/22） <p>【関連事業】（コレクション展）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員によるギャラリートーク（2/9） ・ダゲレオタイプ・ワークショップ（講師：新井卓＝写真家）（2/1） ・あざみ野カレッジ「アメリカのダゲレオタイプ」（講師：日比谷安希子）（2/15） <p>【関連事業】 共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山内小学校6年生による展覧会鑑賞ツアー（1/29, 2/5） <p><input type="checkbox"/> 「Gallery in the Lobby」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラのしくみ2019（4/25-5/26） ・記念カメラ（10/2-10/27） ・カメラと画角サイズ（10/30-11/24） ・スポーツとカメラ（2/29-3/29） <p>※3/2-3/31 新型コロナウイルス感染予防対策につき臨時閉館</p> <p>③ 【ワークショップ】</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>推進</p> <p>④「アートあざみ野」コラムでコレクション解説を掲載 □「ギャラリー オン ザ マガジン」 年4回</p> <p>⑤東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関と協力・連携</p> <p>⑥横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 海外巡回展（追加事業）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ（4/11-6/6）計5回 ※再掲 ・山内小学校写真ワークショップ「自分の思いと写真」（6/11、17、24、7/1）※再掲 ・特別企画親子向け写真講座「浅田家直伝！家族写真術 令和元年の巻」（講師：浅田政志＝写真家）（10/26, 11/16）※アーティストに学ぶ ・ダゲレオタイプ・ワークショップ（講師：新井卓＝写真家）（2/1）※再掲 <p>【講座・イベント】※再掲 「あざみ野フォト・アニュアル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストトーク（1/25） ・対談 田附勝、石倉敏明（人類学者）（2/22） ・あざみ野カレッジ「アメリカのダゲレオタイプ」（講師：日比谷安希子）（2/15） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山内小学校6年生による展覧会鑑賞ツアー（1/29, 2/5） <p>④ 情報誌「アートあざみ野」への「ギャラリー オン ザ マガジン」</p> <p>□年4回掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Vol. 47 「ハンザキャノン」 ・Vol. 48 「ダゲレタイプとジオラマの技術に関する歴史と詳細」 ・Vol. 49 「ダゲレオタイプ・ケース」 ・Vol. 50 「琉球 泊村の寺院（『ペリー日本遠征記』より） <p>⑤東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関とは日常的に連携し、コレクションの管理について等の情報共有をしました。</p> <p>⑥横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 海外巡回展 昨年度、当館で開催した「暗くて明るいカメラの部屋 Guest Curator 野村浩」を中国・成都「A4 Art Museum」にて開催。野村が出版した</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>コミック本『CAMERAer—カメラになった人々』に登場するキャラクターを案内役に、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを中国の方々に紹介し、大好評を博しました。</p> <p>【展覧会名】 The Dark and Bright Room of CAMERAer</p> <p>【会 期】 2019年11月23日～2020年2月23日 ※2/3より新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため閉幕</p> <p>【会 場】 A4 Art Museum（中国・四川省成都市）</p> <p>【主 催】 A4 Art Museum</p>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 運営について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

<p>[取組内容]</p> <p>●貸館 利用の際のアドバイスを充実させ、利用者の制作活動や発表の場で最大限の成果が得られるように支援します。</p> <p>●文化芸術創造活動発表を行う団体等への各種支援 施設利用者の広報協力ほか専門施設ならではの支援をします。また、ご利用を検討中の方や利用抽選に外れた</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□利用率の目標 展示室Ⅰ、Ⅱとも100% アトリエ コマ単位 63% 日にち単位 93% 夜間コマ 36%</p> <p>■展示構成の専門性の高いアドバイスの実施</p> <p>■広報の協力 ・展覧会情報を情報誌『アートあざみ野』で紹介 ・チラシや案内ハガキをエントランスに判りやすく</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□展示室1：92%（半面A：92%、半面B：92%） 展示室2：91.5%（半面A：92%、半面B：91%）</p> <p>アトリエ コマ単位 47%（未達） 日にち単位 79%（未達） 夜間コマ 23%（未達） ※全て小数点以下四捨五入</p> <p>展示室、アトリエともに例年並みの実績で推移していましたが、3月の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による閉館のため、稼働率が落ちました。</p> <p>■展示室、アトリエの事前打合せを行い、展示方法のアドバイス、不明な点の解消や要望に応えるよう努めました。展示室内での演奏会などの要望には、当日の全館利用状況をみながら調整・実現を図りました。</p> <p>■広報の協力 引き続き、情報誌「アートあざみ野」や施設ホームページトップに展示室、アトリエの利用を掲載すると共に、展示室については、会期中の会場写真もアップしました。チラシや案内につ</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>方への丁寧な対応をします。</p> <p>●施設提供に関する利用者サービスを実施します</p>	<p>配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会の会場写真をホームページで紹介 ■ 貸館利用問合せへの的確で丁寧な対応、現場視察への自由度の高い対応 ■ ホームページでの施設情報提供 ■ 市内外ギャラリー情報の提供 ■ 利用期間中の物品預かり ■ 2つの割引継続実施（夜間割引、学生割引） ■ 施設空き情報の即時公開システムの運用 	<p>いては、常時受け入れ、館内配架いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 可能な限りお客様の都合に合わせる形で、打ち合わせ及び現場視察に対応するように努めました。 ■ ホームページ上に、分かりやすい文章表記を心掛けた施設情報を記載しました。 ■ 1階エントランスロビーにて当館に寄せられた、市内外ギャラリーや文化施設のリーフレットやチラシ類を分野別に閲覧しやすい形で配架いたしました。 ■ 随時、物品預かりを実施しました。 ■ 「割引制度」については、残念ながら利用促進に特段の効果は得られていません。経常的に「夜間割引」の利用はありますが、令和元年度についても「学生割引制度」を利用した団体はありませんでした。 ■ 現在の貸館状況や施設に空きが出た場合の情報発信を迅速に行い、利用率の向上に努めました。
----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 利用促進、利用者サービスの向上及びアイデア、ノウハウの提案について

<p>[目指す成果]</p> <p>●利用者/来館者の声を常に最前線で聞き、サービスを向上させ、利用者満足度を高めます。また、来館者だけでなく、潜在的なニーズを把握し、来館者増につなげます。</p> <p>●要望や苦情への対応、運営改善</p>	<p>[取組内容及び達成指標]</p> <p>□アンケートによる展示室利用者の満足度 4.6 以上</p> <p>■利用者のクレームや意見を館内職員で情報共有し、迅速な運営改善につ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□平均満足度 展示室：4.71（5点満点）</p> <p>■管理合同ミーティングを毎週火曜日に行い、アートフォーラム全体での運営状況や課題、クレームや意見を共有、対応策を協議し迅速な運営</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	なげます。	改善を行っています。
--	-------	------------

ウ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>● 専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p> <p>● 適切かつ効果的な勤務体制を確立</p> <p>● 切れ目のない責任体制の維持</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="485 488 916 734"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 勤務体制について</p> <p>基本：早番（8：45～17：30）2名 遅番（12：30～21：15）2名 （全職員によるローテーション制）</p> <p>■ 繁閑に応じて柔軟なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営を両立させ、良質な利用者サービスを提供します。</p> <p>■ 館長・副館長不在時の代行者を明確にし、責任体制を維持します。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="951 488 1406 636"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="951 685 1406 833"> <tbody> <tr> <td>美術専門スタッフ</td> <td>4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設管理運営</td> <td>4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>3人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 勤務体制について（基本）</p> <p>早番（8：45～17：30）2名 遅番（12：30～21：15）2名 （全職員によるローテーション制）</p> <p>■ 施設の利用状況や事業準備及び実施の業務繁閑に応じ、柔軟かつ効率的なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営の両立を実現しました。</p> <p>■ 館長・副館長不在時の代行者を明確にすることはもとより、緊急連絡先の職員間共有により、責任体制を明確化にしています。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		美術専門スタッフ	4人		施設管理運営	4人		常勤アルバイト	3人	短時間勤務
項目	人数	備考																																	
館長	1人																																		
副館長	1人																																		
職員	8人																																		
臨時職員	3～5人	短時間勤務																																	
項目	人数	備考																																	
館長	1人																																		
副館長	1人																																		
美術専門スタッフ	4人																																		
施設管理運営	4人																																		
常勤アルバイト	3人	短時間勤務																																	

エ 横浜市の重要施策を踏まえた取組みについて

<p>[取組内容]</p>	<p>[達成指標]</p> <p>横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通して重要施策を理解し、積極的に協力します。 また、当財団のコンプライアンス委員会における議論や情報を共有し、職員のコ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>経常的にコンプライアンス研修のほか、職員ミーティング等で注意喚起に努めました。マイナンバー収集にあたっては、実務に沿った研修、作業における事務所内における目隠しの徹底などに努め、個人情報の漏えい防止対策を行いました。</p>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>●適正な個人情報保護・情報公開</p>	<p>ンプライアンス意識を高めます。</p> <p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱います。</p>	<p>■個人情報の保管 施錠管理、パスワードロック</p> <p>■顧客管理クラウドシステム「シナジー」導入</p>
<p>●人権尊重</p>	<p>■すべての人に開かれた施設として公平・公正な施設運営のため、人権尊重の取組みを大切にします。</p>	<p>■平成 28 年 4 月 1 日に施行された「障害者差別解消法」の内容を把握し、来館される方々が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に貢献する施設運営を目指しました。</p>
<p>●環境への配慮</p>	<p>■ゴミを適切に分別し、排出量を抑えます。利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p>	<p>■利用者にはゴミの持ち帰りをお願いし、事務所で発生するゴミも細かく分別して再利用を促進し、排出量を抑えるよう努めました。</p> <p>「アートフォーラムあざみ野（複合施設）」全体でのゴミ排出量は、前年比 90%の 3,158kg（前年 3,506kg）でした。</p>
<p>●市内中小企業への優先発注</p>	<p>■電気とガスの使用量を前年度並みに抑制します。</p> <p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内業者に発注します。</p>	<p>■空調運転など工夫し年間使用量については、暖冬傾向などの気候条件もあり。前年度より抑制する事ができました。</p> <p>電気 対前年度比：94%</p> <p>ガス 対前年度比：97%</p> <p>■物品購入・業務委託等にあたっては、有資格者名簿を参考に複数業者に見積りを取るなどし、出来得る限り市内業者への発注に努めました。</p>

(3) 管理について

ア 施設及び設備、備品の維持保全及び管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●共用部分については、アートフォーラムの中長期修繕計画を策定し、それに基</p>	<p>アートフォーラムでは、日常的に共用部分・専用部分の区別無く、全職員（横浜市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会</p>	<p>毎週 1 回の管理合同ミーティングの中で、施設や設備の不具合を共有し、効率的で効果的な修繕を実施しました。</p>

<p>づく管理を適性に実施するとともに必要な経費を負担します。</p> <p>●専有部分についても中長期的な視点に立ち、総合的な保全管理に取り組めます。</p>	<p>社)が協力して、施設・設備・備品の維持管理を行います。</p> <p>□電気・空調・衛生設備・昇降機点検、建築基準法12条に基づく点検 法定通り実施</p> <p>□AEDを設置 操作研修 年1回</p> <p>□センター横浜北、管理委託会社との管理検討会 年1回</p> <p>□横浜市が策定する「維持保全の手引き」及び「施設管理者点検マニュアル」に基づく点検・報告 随時</p> <p>□展示室壁面の塗り直し 年1回</p> <p>■展示室、アトリエ貸出備品の点検・整備 随時</p> <p>■第3期指定期間内における修繕、設備・備品更新などに関する提案</p>	<p>□法定点検 実施 業務の基準に基づく点検・清掃＝実施</p> <p>□AED設置2台 ※1台はセンター横浜北所有 ・操作研修 年2回(6月:外部研修に参加、9月合同防災訓練内で実施)</p> <p>□維持管理の検討会 毎週開催の管理合同ミーティングでエネルギー使用量削減状況の確認をするほか、下半期に不具合リストを作成して、修繕の優先順位や時期、対応策を検討しました。今年度は利用者の指摘を検討し駐輪場前の歩道切下げ工事を実施、また市予算により冷温水発生機の整備工事が完了しました。</p> <p>□設備管理業務を専門業者に委託し、横浜市が策定する手引きやマニュアル、業務の基準に沿って、専門的な知識に基づく施設管理を随時行っています。不具合は小さなうちに発見し、自ら修繕できるものは速やかに対応しました。</p> <p>□展示壁面の補修・塗り直し 1回(1/6-1/8) ・展示室蛍光灯交換(1/7,8)</p>
----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 小破修繕への取組

<p>[取組内容]</p> <p>●小破修繕については、センター横浜北および管</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■不具合を早期発見し、修繕必要箇所に迅速に対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■建物及び設備管理業務を専門業者に委託し、横浜市が策定する手引きやマニュアル、業務の基準に沿って、専門的な知識に基づく施設管理を</p>
---------------------------------------------	--------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

<p>理委託会社・設備点検業者とともに、遺漏無く早期発見、対応を行い、建物・設備の長寿命化を図ります。また、クレームの無い、快適な環境を維持します。</p>	<p>■適切で効率的な維持保全及び管理により、良好な状態を保持し、クレームの無い快適な環境維持を目指します。</p>	<p>行っています。不具合は小さなうちに発見し、自ら修繕できるものは速やかに対応しました。</p> <p>■建物及び設備管理業務を専門業者に委託し、毎週1回の管理合同ミーティングでの現況確認を経常化しています。今年度も、施設利用環境における、利用者からのクレーム等はありませんでした。</p>
--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ウ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管について

<p>[取組内容]</p> <p>●貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□収蔵庫内環境は、年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置</p> <p>□文化財食害虫生息調査 年8回実施</p> <p>□庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回</p> <p>■専門機関と協力・連携</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>展示室内の空調管理、収蔵庫の空調や pH 管理を行い、作品の収蔵に適した空気環境を整えました。5月に庫内空調機及び付近で大量のクロバネキノコバエの死骸が発見され、7月に光誘因トラップを設置しました。8月に少数の捕獲があったものの10月以降捕獲はなく、明確な侵入経路は不明ですが収蔵品への影響はなく、以後環境維持に一層努めています。</p> <p>□収蔵庫の温湿度管理 計画通り実施。</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置しました。</p> <p>□文化財食害虫生息調査 年8回</p> <p>□庫内点検、定期清掃月1回（毎月10日頃に実施）</p> <p>■日本カメラ博物館等と日常的に連携し、コレクションの管理について情報共有や所蔵品借出し等の連携を図りました。</p>
-------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

エ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>●アートフォーラムでは、全職員</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■これまで蓄積してきた各種マニュアルを常に見直</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人事異動に伴い、緊急連絡網や消防計画、機械警備マニュアルの見直しを随時行うとともに、</p>
--------------------------------------	----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

<p>(横浜市民ギャラリー あざみ野、センター横浜北、管理委託会社)が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。</p> <p>●緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。</p> <p>●防災の取組みとして近隣の防災拠点としての役割を担います。</p>	<p>し、新たな危機の想定など、必要に応じた更新・改訂をしていきます。</p> <p>■安全管理マニュアルを見直し、必要に応じて更新します。</p> <p>■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的確認行動を図り、危機の際には「アートフォーラムあざみ野」全職員が一致して対応します。</p> <p><input type="checkbox"/>センター横浜北との合同防災訓練 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年1回</p>	<p>職員会議や防災訓練などの際に、更新・改訂点を中心に情報共有を行いました。</p> <p>■安全管理マニュアルについては、都度見直しを図り、変更点が生じた場合は、職員間への情報共有を図りました。</p> <p>■男女共同参画センター横浜北、施設管理委託業者との、毎週開催される管理合同ミーティング以外にも、常時情報共有を密にし、施設全体の緊急対応に備えています。</p> <p>■年2回の防災訓練を中心に「アートフォーラムあざみ野」全体としての緊急時対応について職員間の理解を深めるよう努めています。</p> <p><input type="checkbox"/>合同防災訓練 年2回：9/24、3/24</p> <p><input type="checkbox"/>帰宅困難者一時滞在施設対応訓練(備蓄食料等の確認) 年1回：3/24</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) その他

ア 広報の充実について

<p>[取組内容]</p> <p>●ホームページの内容を充実させ、最新の情報を発信します。</p> <p>●より多くの市民に情報が行き渡るように様々な広報媒体を活用します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページ更新 週1回以上</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページアクセス件数 年間50万件以上</p> <p><input type="checkbox"/>メールマガジン 月1回の定期配信</p> <p><input type="checkbox"/>情報誌「アートあざみ野」年3回以上発行</p> <p><input type="checkbox"/>企画展の広報 有料広告等の効果的な活用</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページ更新 週3回程度</p> <p><input type="checkbox"/>アクセス数 トップページ：593,706件 ページ(全てのページ)：2,605,395件</p> <p><input type="checkbox"/>メールマガジン発行 年25回配信 月1回の定期配信、ほか不定期配信</p> <p><input type="checkbox"/>「アートあざみ野」年4回発行：vol.51～54</p> <p><input type="checkbox"/>有料広報 年1回 企画展実施の際に、地元地域への周知を厚くするため、駅貼りポスター(コンテンポラリー)、</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>○センター横浜北との広報協力を 行い、相乗効果 を發揮します。</p>	<p>■無料媒体（フリーペー パー、「広報よこはま」など） 月1回以上掲載</p> <p>■事業内容や想定対象層等 を踏まえて、効果的な媒 体を選択し、コストパフ ォーマンスの高い集中広 報を行います。</p> <p>■Facebook による情報発信 随時更新</p> <p>■Twitter による情報発信 随時発信</p> <p>■チラシの新聞折込による 情報発信 適宜</p> <p>■センター横浜北との随時 情報交換 適宜</p>	<p>による情報発信を行いました。</p> <p>□無料媒体 毎月1回以上掲載 「広報よこはま」では、毎月当館のコーナーを 設け情報発信がされました。また、地元タウン 誌等の情報掲載欄に都度情報掲載がされまし た。</p> <p>■地元地域への周知を厚くするため、駅貼りポス ター（あざみ野サロン「マイホームの夢とキッ チン」）、町内会回覧板チラシ折込み（あざみ野 サロン「新春あざみ野寄席」）による情報発信を 行いました。</p> <p>■広報よこはま、フリーペーパー、ラジオなど の無料媒体は、その時々旬な事業（企画展3 種）やトピックス（講座、公演系）を「街ネ タ」的に発信し施設の存在をアピールする目的 に利用しました。</p> <p>■Facebook による情報発信は、事業告知及び終了 報告を中心に随時更新しました。</p> <p>■Twitter による情報発信は、事業告知やトピッ クスの即時性を重視し更新しました。</p> <p>■10月開催のアートフォーラムフェスティバル については、昨年よりエリアを拡大して新聞折 込みを行っています。</p> <p>■合同広報会議については、定期開催ではなく毎 週1回の管理合同ミーティングの際や共催事 業開催時に随時行いました。10月に開催し た共同主催の「アートフォーラムフェスティバ ル2019」に際しては、チラシを当日配布物と分 けて作成し、チラシの新聞折込を行うほか、館 内外フラッグを掲出するなどを実施しました。 また、それぞれの所有する分野の広報先を持ち 寄り共催事業の告知に活用する等、施設とし ての活動周知に協力し努めました。</p>
------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 収支について

(1) 指定管理料のみに依存しない収入構造について

<p>[取組内容]</p> <p>●自主事業の一部 については、指定</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□収支ゼロ若しくは黒字で 行う自主事業 年間100万</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□年間1,843,278円 「市民のためのプログラム」（年間10コース、参</p>
--------------------------------------------	-----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

<p>管 理料を充当せず に行います。</p> <p>●利用料金収入を 安定的に確保し ます。</p> <p>●助成金・協賛金、 現物協賛の獲得 を目指します。</p>	<p>円以上</p> <p>□利用料金収入（施設・駐車 場）年間 1,326 万円以上</p> <p>□助成金を 2 件以上申請。 協賛金・広告料とあわせ て外部資金を獲得 年間 100 万円以上</p>	<p>加者数：延べ 743 人）及び「アートフォーラム フェスティバル」について、全体収支における 受益者負担率がそれぞれ、103.8%、114%と収 支ゼロを超えた黒字となりました。</p> <p>□年間 1,096 万円（未達） ※今年度の目標額達成は、確実視されていたの ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策 の一環で、3/2～3/31 臨時閉館による利用料金 返還（719,900 円）及び駐車場利用料の減収の ため、目標未達となりました。</p> <p>□助成金を 5 件申請(4 件採択)</p> <p>□助成金・協賛金・広告料獲得 287 万 2 千円 あざみ野コンテンポラリー：177 万 2 千円、あ ざみ野フォト・アニュアル：60 万円の助成金を 獲得しました。その他、横浜アーツフェスティ バル実行委員会より音祭り助成金やアートフ ォーラムフェスティバルに対してメルセデス ベンツあざみ野からの協賛金をいただきました。 また、広報誌への広告収入や現物協賛（レ セプション用飲料提供等）を得ました。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <p>○経費削減、効率 的運営を行いま す。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■センター横浜北とも協力 し、施設管理にかかる委 託費を前年度並みに抑制</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■建物総合管理、設備保守、警備、受付、清掃業 務委託については、前年度並み（予算内）に抑 えることができました。開館 15 年を超え、様々 な機器や設備の更新時期が迫っています。</p>
--------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 PDCA サイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <p>●PDCA サイクルの 基本指標となる 日報、月報の作 成・管理を確実 に行います。</p> <p>●事業計画書・事</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□業務日報の作成 毎日</p> <p>□月報と月締め完了確認書 を作成 年 12 回</p> <p>□モニタリング 月 1 回</p> <p>□事業計画書・事業報告書</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□毎日、業務日報は、その日に起きたことを記載 し、管理職まで回覧後、ファイリングしました。</p> <p>■月報及び月締め完了確認書については、遅滞な く作成されました。</p> <p>□毎月 1 回の横浜市とのモニタリングを確実に 遂行しました。</p> <p>□事業計画に沿った成果が把握できる報告書を</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>業報告書の作成・管理を行います。</p> <p>●業務評価を実施します。</p>	<p>の作成 1回 事業計画に沿って成果が見える報告書を作成 1回</p> <p><input type="checkbox"/> 月例モニタリング 月1回</p> <p><input type="checkbox"/> 自己評価（仮決算含む） 年2回</p>	<p>期日までに作成しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 毎月1回の横浜市とのモニタリングを確実に遂行しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 年2回 仮決算及び報告書作成時などに、業務に関する自己評価を行いました。</p>
---------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7 その他

<p>[取組内容]</p> <p>●市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万一に備えます。</p> <p>●関係法令を順守し、公的機関としての役割を果たします。</p> <p>●よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>○施設賠償保険は館内すべてを対象とするため、アートフォーラムあざみ野としてセンター横浜北が契約し費用については応分負担します。</p> <p>●作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険契約については、個別に契約し、賠償請求について対応します。</p> <p>■現行の関係法令を遵守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認を行います。</p> <p>■事故や不具合時は即日報告とし、随時共有します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>○施設賠償保険については、館内すべてを対象とするため、アートフォーラムあざみ野としてセンター横浜北が主体となり契約し、その費用については、当方側も応分負担いたしました。</p> <p>●全ての対象において、遅滞なく適正な保険に加入しました。令和元年度は、保険金支払い請求を行う事案は発生いたしませんでした。</p> <p>■関係法令の遵守はもちろんのこと、個人情報法保護や障害者差別解消等に関する法令の改正や公布に、随時気を配り、業務遂行への反映を図りました。</p> <p>■事故や不具合が発生した場合、迅速なる対応とともに、管理者や関係部署へ、即日報告を徹底しました（令和元年度についても、運営に支障を来すような甚大な事故や不具合は発生しませんでした）。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成31・令和元年度「横浜市民ギャラリーあざみ野」収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	提案書 予算額(31年度)(A)	31年度業務計画 予算額(B)	決算額 (C)	差引 (B-C)	説明 (提案書との差異)
指定管理料	160,000,000	161,590,000	161,590,000	0	
利用料金収入	9,563,000	8,200,000	7,289,900	910,100	新型コロナウイルス感染拡大による臨時閉館、料金返還発生のため
自主事業収入	4,480,000	7,247,000	9,820,960	△ 2,573,960	入場料・講座料収入ほか、協賛金・助成金 ¥ 2,877,500、コレクション展都巡回
横浜市費用負担			577,000		
雑入	4,620,000	4,628,000	5,228,766	△ 600,766	
印刷代	10,000	10,000	21,780	△ 11,780	利用者への消耗品物販等
自動販売機手数料	750,000	900,000	841,799	58,201	飲料自販機、お弁当やさん出店料
その他(負担金等)	3,860,000	3,718,000	4,365,187	△ 647,187	センター北より(駐車場利用料収入 ¥ 3,670,668、共用リッパフ・Wi-Fi等按分経費 ¥ 694,519)
収入合計	178,663,000	181,665,000	184,506,626	3,002,000	

支出の部

科目	提案書 予算額(31年度)(A)	31年度業務計画 予算額(B)	決算額 (C)	差引 (B-C)	説明 (提案書との差異)
人件費	63,798,000	72,220,000	71,170,866	1,049,134	
給与・賃金	52,300,000	59,921,000	58,252,338	1,668,662	職員11人(産休職員1名+3月から1名含む)、臨時職員(常勤1人+短時間7人)
社会保険料	7,378,000	8,138,000	8,368,076	△ 230,076	
通勤手当	1,528,000	1,230,000	1,255,520	△ 25,520	
健康診断費	82,000	119,000	111,394	7,606	
勤労者福祉共済掛金	60,000		0	0	
退職給付引当金繰入額	2,450,000	2,812,000	3,183,538	△ 371,538	
事務費	5,090,000	3,502,500	5,392,632	△ 1,890,132	
旅費	367,000	100,000	98,833	1,167	
消耗品費	866,000	350,000	280,651	69,349	
会議滞在費	21,000	0	0	0	
印刷製本費	550,000	200,000	330,684	△ 130,684	封筒・名刺作成のほか、第4期指定管理提案書作成費用を含む
広報宣伝費	0	200,000	222,740	△ 22,740	施設広報、年報作成、Web経費等
通信費	734,000	499,000	621,899	△ 122,899	電話、光ファイバー、FAX、Wi-Fi等利用代、郵便・切手代、宅配便等
使用料及び賃借料	0	1,346,500	1,497,685	△ 151,185	
横浜市への支払分	0	125,500	125,489	11	飲料自販機、お弁当屋さん
その他	0	1,221,000	1,372,196	△ 151,196	PC・コピー機・プリンター・AED・マット等リース料、セキュリティソフト、NHK受信料、顧客管理システムサービス等
備品購入費	612,000	140,000	1,533,180	△ 1,393,180	耐用年数1年以上の要管理簿登録物品(共用リッパフ等)の更新
図書購入費	153,000	150,000	170,707	△ 20,707	
施設賠償責任保険	75,000	80,000	80,425	△ 425	センター横浜北で契約し経費折半。
職員等研修費	123,000	0	0	0	
振込手数料	408,000	250,000	233,996	16,004	
リース料	530,000	0	0	0	300万円以上の物件のリース料
手数料	41,000	177,000	317,265	△ 140,265	
地域協力費	10,000	0	0	0	
その他(雑支出等)	600,000	10,000	4,567	5,433	
事業費	35,480,000	34,730,000	35,077,157	△ 347,157	
自主事業費	35,480,000	34,730,000	35,077,157	△ 347,157	3月自主事業中止による規模縮小
管理費	61,001,000	58,157,500	59,163,421	△ 1,005,921	
光熱水費	16,582,000	14,000,000	14,151,390	△ 151,390	
電気料金	10,389,000	9,210,000	9,479,063	△ 269,063	
ガス料金	4,227,000	3,400,000	2,634,803	765,197	
水道料金	1,966,000	1,390,000	2,037,524	△ 647,524	
清掃費	0	0	0	0	
修繕費	1,392,000	1,600,000	2,806,891	△ 1,206,891	共用部の小破修繕のほか、展示ガラスケース、収蔵庫扉の修理を実施
機械警備費	176,000	173,310	0	173,310	
設備保全費	42,851,000	42,384,190	42,205,140	179,050	
空調衛生設備保守	2,038,000	2,362,000	2,315,550	46,450	共用部のほか、展示室・収蔵庫空調機器保守
消防設備保守	521,000	515,000	514,370	630	
電気設備保守	979,000	989,500	952,360	37,140	
害虫駆除清掃保守	265,000	7,166,000	0	7,166,000	通常清掃経費は建物総合管理契約に含むため、その他保全費で計上
駐車場設備保全費	548,000	542,820	542,820	0	
その他保全費	38,500,000	30,808,870	37,880,040	△ 7,071,170	上記清掃費のほか、展示室蛍光灯全交換費用等含む
共益費	0			0	
公租公課	6,394,000	6,229,000	6,533,622	△ 304,622	
事業所税	0			0	
消費税	6,343,000	6,112,000	6,419,300	△ 307,300	
印紙税	51,000	60,000	57,600	2,400	
その他(法人住民税)	0	57,000	56,722	278	
事務経費	6,900,000	6,826,000	6,826,000	0	
本部分	6,900,000	6,826,000	6,826,000	0	間接事務費。(事業費総額-事務局繰入金)の平成27年度から30年度の平均額
当該施設分	0	0	0	0	
支出合計	178,663,000	181,665,000	184,163,698	△ 2,498,698	
差引	0	0	342,928	5,500,698	